

編集後記

第57巻2号, 第112回学術総会の抄録号をお届けいたします。3.11大震災後の, 最初の編集号になります。まず犠牲者の皆様に哀悼の意を表し, また被災された各位にお見舞いを申し上げます。

震災の影響で, 4月に東京で予定されていた第28回日本医学会総会は延期のうえ大幅な予定変更となりましたが, 本学会は坂井建雄大会会長をはじめ, 実行委員諸氏, そのほか関係各位のご努力のお蔭をもって, 予定どおり開催できる模様です。福島第1原発の非常事態が容易に去らない中, これまでは当然のことと気にも留めなかったことが, 以前とは違って映ることの多い昨今です。今の状況下で, 学術総会が予定どおりに開催され, そこに集って会員諸氏と共に医史学研究に研鑽できることがいかに恵まれているかを思わざるを得ず, そのこと自体への感謝の思いがしきりです。

当日のプログラムは, 初日の会長講演・特別講演に始まり, 2日目には医学教育史をテーマとしたシンポジウム, そして一般演題は90題の多きを数えます。B5判の本誌判型もすっかり定着して, 一般演題の抄録内容もますます充実してきた感があり, 編集委員の一人として実に嬉しい限りです。

このたびの学術総会が一層充実したものとなるよう, なるべく多くの会員・非会員諸氏のご参加をお願いいたします。事態の一日も早い好転を祈りつつ。

(町 泉寿郎)